

2013（平成 25）年度
法務研究科 法務専攻（法科大学院）A 日程 入学試験問題
「小論文」
（120 分）

注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。

【問題】次の文書 1 は『予想どおりに不合理』という本の一節です。この文書を読んで以下の設問 (A) (B) (C) に答えなさい。(配点100点)

- (A) 筆者は、文中にある下線 α の行為が「不合理」であると考えている。なぜこれが「不合理」といえるのか、説明しなさい。
- (B) 文中にある下線 β の実験の結果はどのようなものになったと考えられるか、また、あなたがそう考えた理由は何かについて、説明しなさい。
- (C) この文書で論じられている「無料」の経済的効果にあてはまると思われる他の例をあげ、その例と文中の 2 つの例（チョコレートの販売、お菓子の交換）との異同について説明しなさい。

文書 1

文書 1 の問題文は、著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

文書 1 の問題文は、著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

文書 1 の問題文は、著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

(出典：ダン・アリエリー著/熊谷淳子訳『予想どおりに不合理：行動経済学が明かす
「あなたがそれを選ぶわけ」早川書房 (2008 年) 83-94 頁。なお問題文では、縦書きの
原文を横書きに変え、漢数字を算用数字に変えている。)

